

泊原発運転認めず

廃炉請求は棄却 札幌地裁判決

北海道電力泊原発1～3号機（泊村）で事故が起きれば生命や身体
の安全が脅かされるとして、周辺住民ら約千二百人が北海道電に廃炉
や運転差し止めを求めた訴訟の判決で、札幌地裁（谷口哲也裁判長）
は三十一日、現在定期検査中の三基の運転差し止めを命じた。二〇一
一年の東京電力福島第一原発事故後、運転差し止めを命じる判決は三

例目。初の司法判断となった廃炉の請求は棄却
した。一一年十一月の提訴から十年半を経て住
民側が勝訴した。国のエネルギー政策や再稼働
を目指す各地の原発にも影響しそうだ。

泊原発は全基が停止中。一三年七月、福島
の原発事故の教訓を踏まえて策定された原発の新
規制基準施行と同時に、北海道電は原子力規制
委員会に再稼働に向けた審査を申請。審査が続
いている。



北海道泊村の北海道電力泊原発